

日本 GAP 協会 会員部会<輸出部会>
第一回 会合
- 輸出部会の方向決め／香港における JGAP 普及 -

日本 GAP 協会
 専務理事 武田泰明

日頃より、JGAP 普及にご協力頂き、誠にありがとうございます。
 JGAP 認証農場が 1,650 農場 (9 月末) を超える段階に入っておりますが、それを支える日本 GAP 協会の活動をより活発に行うことを目指し、4 月より会員部会を設置致します。
 会員部会は全 7 部会あり、会員は複数の部会に参加することができます (次ページ参照)。

そのうちの一つであります会員部会<輸出部会>の第一回会合を下記の通り行います。
 肩ひじ張らず、日本 GAP 協会会員によるざっくばらんな話し合いの場としたいと思います。
 ご参加のほど、宜しくお願い致します。

日時	2012 年 4 月 20 日 14 時 00 分から 17 時 00 分 部会の終了後、懇親会を開催致します。
場所	日本 GAP 協会 (東京都千代田区紀尾井町 3 番 29 号 日本農業研究所ビル)
対象者	①輸出部会に所属希望の会員 ②技術委員 ③理事
議題	①JGAP 認証農場の輸出拡大に向け、その方策に関する審議 ②香港マーケットにおける JGAP 普及の作戦会議 ③JGAP 認証農場の海外進出 (海外生産) に向け、その方策に関する審議 ④今後の輸出部会の進め方に関する審議
担当	佐藤／武田 TEL : 03-5215-1112

<4 月 18 日までに参加お申し込みください FAX 番号 : 03-5215-1113>

会員名		担当		電話	
携帯		FAX			
E-Mail					
会員部会 所属の申し込み	<input type="checkbox"/> 輸出部会に所属し、4 月 20 日の第一回会合に参加する				
	<input type="checkbox"/> 第一回会合に参加した上で、所属するか決める				
	<input type="checkbox"/> 輸出部会に所属するが、第一回会合は欠席する				
	<input type="checkbox"/> 輸出部会に所属しない				
<input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。	<input type="checkbox"/> 4 月 20 日の第一回会合 後の懇親会も参加する				
<その他、輸出部会で意見交換したい議題がございましたら、自由にお書き下さい。>					

参考：日本 GAP 協会 会員部会のご紹介

会員部会	部会の概要 (設置当初の目的や狙いなど)
農薬・肥料・資材部会	農薬、肥料、その他の農業資材に関係した会員を中心に組織する。それらの技術的な審議や啓もう活動を行うほか、技術委員会への JGAP 基準改定の提言や、農業現場への JGAP 指導手法の開発・発展を目標とする。
輸出部会	日本産農産物の輸出に関係した会員を中心に組織する。JGAP の海外での普及や啓もう活動を行い、JGAP 認証農場の海外進出を支援し、日本産農産物の輸出を促進することを目的とする。
IT・標準帳票部会	IT および流通に関係した会員を中心に組織する。農薬使用履歴など栽培情報を生産側と流通側でやり取りする標準帳票の設計や、IT による情報の共有化などの審議を行う。
農業経営・金融部会	農業経営と GAP の関係性に関する研究や、農業向け融資に関する会員を中心に組織する。外部の研究者も参加する「農業経営と GAP に関する研究会」を運営し、JGAP 導入によって、農業経営がどのように改善されたのか定性的に把握するとともに、定量化できる部分については定量的に計測する。
消費者・普及部会	消費者と接する小売および流通に関係する会員を中心に組織する。JGAP の消費者向け普及を目指し、その方法や取り組みを審議・実施する。外部の有識者も参加する普及委員会を運営する。
外食・加工食品部会	外食業および加工食品に関係する会員を中心に組織する。外食業界や加工食品業界での JGAP 普及を目指し、その方法や取り組みを審議・実施する。
分析・放射能部会	分析機関、分析機器および放射能検査・対策に関係する会員を中心に組織する。農業者・流通事業者が活用しやすい分析方法・分析機関のあり方を審議する。技術委員会への JGAP 基準改定の提言も行う。

*会員部会の設置に関する規約「会員部会の規約」http://jgap.jp/LB_01/kaiinbukai_kiyaku.pdf